

4 守谷市環境審議会委員等名簿

■守谷市環境審議会委員名簿（敬称略）

委嘱区分	所属・役職	氏 名		
		平成26・27年度		平成28年度
市議会の代表 (3人以内)	市議会議員	末村 英一郎		青木 公達
		佐藤 剛史		
		長谷川 信市	山田 美枝子	高梨 隆
関係機関及び 団体の代表者 (5人以内)	農業委員会の代表	飯島 重信		高橋 甚一郎
	消費者の会の代表	井田 春江	—	
	商工会の代表	宮本 三千代		
	利根川河川敷環境保全 実行委員会		鈴木 榮	
	守谷市地域省エネルギー 対策実行委員会		篠 大太郎	
識見を 有する者 (3人以内)	自然友の会	五木田 悦郎		
	県南県民センター 環境・保安課長	落合 栄一	栗田 茂樹	石津 尚
	常総環境センター長	草間 昇		稲川 光一
事業主 (4人以内)	塵芥収集委託業者 (株)シイナクリーン	椎名 誠		
	アサヒビール(株)茨城 工場	高橋 清		大同 親
	(株)明治守谷工場	古池 智彦		
市民の代表 (4人以内)	公募委員	清野 修		
	守谷をきれいにしよう 会	倉持 好一		
	利根川河川敷環境保全 実行委員会	菅原 利喜男		
	守谷市地域省エネルギー 対策実行委員会	西田 昌明		

■守谷市環境施策検討委員名簿

	役 職	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
会 長	副 市 長	橋本 孝夫	橋本 孝夫	橋本 孝夫
副 会 長	生 活 経 済 部 長	岡田 宏美	坂 浩	坂 浩
	教 育 長	後藤 光良	後藤 光良	後藤 光良
	総 務 部 長	笠川 悦範	須賀 三雄	須賀 三雄
	保 健 福 祉 部 長	横瀬 博	木澤 正幸	木澤 正幸
	都 市 整 備 部 長	高橋 要	山中 毅	山中 毅
	教 育 部 長	豊谷 如秀	豊谷 如秀	山崎 浩行
	上 下 水 道 事 務 所 長	寺田 弘	寺田 弘	寺田 弘
	会 計 管 理 者	豊田 みよ子	豊田 みよ子	飯野 亘

■守谷市環境施策ワーキングチーム委員名簿

部 名	課 名	平成 27 年度
総 務 部	企 画 課	係長 寺田 正志
	財 政 課	係長 森 大介
生 活 経 済 部	交 通 防 災 課	主事 恩田 耕介
	市 民 協 働 推 進 課	課長補佐 古谷 徹
	経 済 課	係長 高橋 健児
	生 活 環 境 課	事 務 局
保 健 福 祉 部	社 会 福 祉 課	療育指導員 田原 響子
都 市 整 備 部	都 市 計 画 課	主事 田嶋 浩太郎
	建 設 課	主事 野島 隼介
教 育 委 員 会	学 校 教 育 課	係長 藤原 義訓
	生 涯 学 習 課	係長 海老原 克則
上 下 水 道 事 務 所	上 下 水 道 課	主事 石井 雄大

6-3 守谷市における二酸化炭素排出量

(1) 総排出量

守谷市における2013年度(平成25年度)の二酸化炭素総排出量は70.2万t-CO₂であり、1990年度(平成2年度)の3倍強(約327%)でした。

なお、守谷市の人口は1990年度(平成2年度)から2013年度(平成25年度)にかけて2倍弱(約175%)増加しています。

基準年である1990年度(平成2年度)と京都議定書の第一約束期間の終了年度である2012年度(平成24年度)を比較すると3倍強(約335%)となっており、新目標年度である2005年度(平成17年度)と2013年度(平成25年度)を比較すると16.4%の増加となっています。

ピークは2011年度(平成23年度)となっており、それ以降は減少傾向となっています。

排出割合の部門別内訳は各年度において、産業部門が50%前後で最も多く、廃棄物部門が1%程度で最も少ないため、「生産型」の構造となっています。

(2) 人口1人当たりの二酸化炭素排出量

守谷市における2013年度(平成25年度)の人口1人当たりの二酸化炭素排出量は11.02t-CO₂/人であり、1990年度(平成2年度)年と比較すると2倍弱(約187%)となっています。

基準年である1990年度(平成2年度)と京都議定書の第一約束期間の終了年度である2012年度(平成24年度)を比較すると2倍弱(約193%)の増加であり、新目標年度である2005年度(平成17年度)と2013年度(平成25年度)を比較すると2.6%の減少となっています。

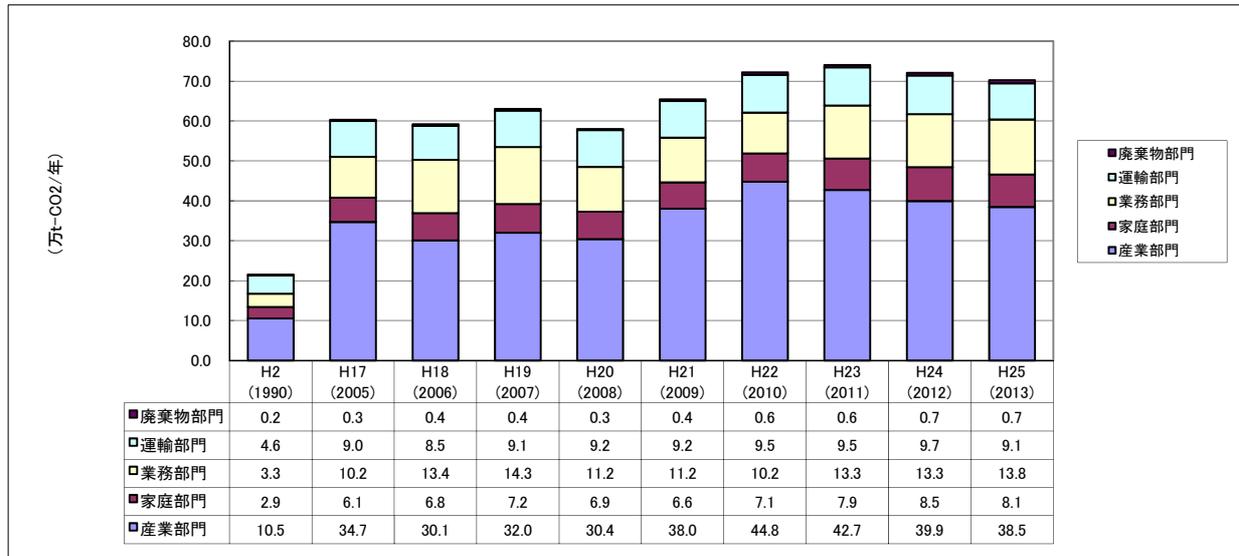
ピークは2011年度(平成23年度)となっており、それ以降は減少傾向となっています。

■ 守谷市における二酸化炭素総排出量の推移

西暦	元号	産業部門	家庭部門	業務部門	運輸部門	廃棄物部門	総排出量 (万t-CO ₂)	1990年度との比率	2005年度との比率	人口(人)	人口1人当たりの二酸化炭素排出量 (t-CO ₂ /人)	1990年度との比率	2005年度との比率
1990	H2	10.5	2.9	3.3	4.6	0.2	21.5	100.0%	35.7%	36,427	5.90	100.0%	52.2%
2005	H17	34.7	6.1	10.2	9.0	0.3	60.3	280.5%	100.0%	53,334	11.31	191.7%	100.0%
2006	H18	30.1	6.8	13.4	8.5	0.4	59.2	275.3%	98.2%	54,037	10.96	185.8%	96.9%
2007	H19	32.0	7.2	14.3	9.1	0.4	63.0	293.0%	104.5%	57,356	10.98	186.1%	97.1%
2008	H20	30.4	6.9	11.2	9.2	0.3	58.0	269.8%	96.2%	58,861	9.85	166.9%	87.1%
2009	H21	38.0	6.6	11.2	9.2	0.4	65.4	304.2%	108.5%	60,617	10.79	182.9%	95.4%
2010	H22	44.8	7.1	10.2	9.5	0.6	72.2	335.8%	119.7%	62,482	11.56	195.9%	102.2%
2011	H23	42.7	7.9	13.3	9.5	0.6	74.0	344.2%	122.7%	62,884	11.77	199.5%	104.1%
2012	H24	39.9	8.5	13.3	9.7	0.7	72.1	335.3%	119.6%	63,279	11.39	193.1%	100.7%
2013	H25	38.5	8.1	13.8	9.1	0.7	70.2	326.5%	116.4%	63,693	11.02	186.8%	97.4%

※1990年度、2005年度、2007-2013年度は環境省数値。2006年度は、2007年度値をベースに人口按分して算出。

■ 守谷市における二酸化炭素排出量の推移（部門別）



■ 守谷市における二酸化炭素排出割合の推移（部門別）

西暦	元号	産業部門	家庭部門	業務部門	運輸部門	廃棄物部門	合計
1990	H 2	48.8%	13.5%	15.4%	21.4%	0.9%	100%
2005	H17	57.5%	10.1%	16.9%	15.0%	0.5%	100%
2006	H18	50.8%	11.4%	22.7%	14.4%	0.7%	100%
2007	H19	50.8%	11.4%	22.7%	14.5%	0.6%	100%
2008	H20	52.4%	11.9%	19.3%	15.9%	0.5%	100%
2009	H21	58.1%	10.1%	17.1%	14.1%	0.6%	100%
2010	H22	62.1%	9.8%	14.1%	13.2%	0.8%	100%
2011	H23	57.7%	10.7%	18.0%	12.8%	0.8%	100%
2012	H24	55.3%	11.8%	18.4%	13.5%	1.0%	100%
2013	H25	54.8%	11.6%	19.6%	13.0%	1.0%	100%